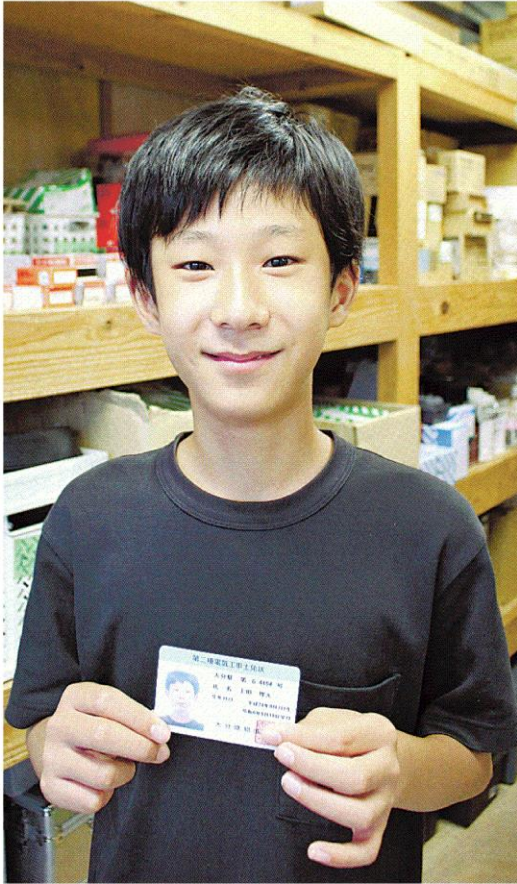




大分市の上田さん 第2種電気工事士

小6 国家試験に合格

【大分】大分市の長浜小6年の上田理人さん(12)が、5、7月にあった第2種電気工事士の国家試験に合格した。住宅や店舗などの電気設備工事に必要な資格で、受験者の大半が社会人や工業高生。小学校では習っていない漢字や計算と格闘しながら勉強に励んだ。「高い目標でもこつこつス Tepp アップしていくことが大切だと分かった」と喜んでる。



父が営む電気工事店で第2種電気工事士の免状を手にする上田理人さん(大分市南生石東)

祖父と父の姿見て決意

試験は上期(5、7月)と下期(10、12月)の年2回。基礎知識や法律について問う筆記と図面通りに配線をする技能がある。一般財団法人電気技術者試験センター(東京都)によると、今年の上期の筆記の合格率は60%、技能は71%だった。

理人さんの祖父義豊さん(77)は別府市光町で、父潤さん(49)は大分市生石で電気工事店を営んでいる。2人の仕事ぶりを間近に見て育ち、「いつも夜遅くまで働いていて大変そう。資格を取って少しでも役に立ちたい」と受験を決めたという。

昨年11月から問題集を解き、小学校の自主学習ノートに図面や作業手順を書き込み、制限時間内に配線できるよう工具やケーブルを手に繰り返し練習した。

母ゆかりさん(45)は「毎日こつこつと弱音を吐かずによく頑張った。成功体験が自信につながったのでは」とほほ笑む。

理人さんは「次は、お父さんが持つ消防設備士と第1種電気工事士の資格を取りたい」と張り切っている。

(藤沢香)



〔問①〕 大分市の長浜小6年の上田理人さんが取得した国家資格は？

〔問②〕 上田さんはどうしてその資格を取ろうと決めましたか。

〔問③〕 ほかにどんな国家資格があるのか調べてみよう。